



Satsuma sendai topics 11

韓国定期コンテナ航路
年間取扱量1万TEU達成

平成16年に開設された、韓国定期コンテナ航路における年間取扱量が1万TEUを達成し、これを記念して11月8日、川内港京泊ふ頭において、セレモニーを開催しました。同航路は昨年11月から週2便化が実現されるなど、ポートセールス活動などに積極的に取り組んできました。今後さらなる川内港の利活用による地域活性化が期待されます。

※1TEU=20フィートコンテナ1個分



Satsuma sendai topics 10

川薩畜産共進会で
樋脇地域が団体総合優勝

9月27日、薩摩中央家畜市場(さつま町)で開催された川薩畜産共進会において、父系群の部(樋脇地域の川原畜産・中島和人さん・山路一浩さんが3頭1組により出品)で、グランドチャンピオン賞を受賞しました。樋脇地域は団体総合でも優勝し、2連覇を果たしました。また、県畜産共進会でも最優秀賞3席を受賞し、薩摩地区の団体知事賞の受賞に貢献しました。



Satsuma sendai topics 05

薩摩川内スピリッツ・きやんせ博覧会
春・夏・秋旅開催

九州新幹線全線開業を好機ととらえ、2月～11月、薩摩川内スピリッツ・きやんせ博覧会(愛称:きやんぱく)春・夏・秋旅を開催しました。これは、「薩摩川内らしさ」をテーマに、市民や市内事業者が考えたプログラムを、本市を訪れるお客様に体験してもらうもの。市内外から延べ6,723人の参加がありました。これを機に、より一層、本市の魅力を外へPRしていきます。



Satsuma sendai topics 04

九州新幹線(博多～鹿児島中央間)が
全線開業

3月12日、九州新幹線(博多～鹿児島中央間)が全線開業しました。川内駅には、新大阪までを結ぶ「さくら」と博多までを各駅停車で結ぶ「つばめ」などが1日上下68本停車。これにより、川内～博多間が最速1時間15分、川内～新大阪間は最速3時間57分です。また、JR九州発表の7～9月の1日平均乗降客数では、川内駅は3,000人と当初の予想客数を上回る状況となっています。



Satsuma sendai topics 13

新エネルギー対策プロジェクトチーム発足
新エネルギー対策課新設

10月1日、新エネルギービジョンの策定に取り組むプロジェクトチームが設置されました。チームリーダーには、資源エネルギー庁から派遣された向野新エネルギー対策監が就任しました。また、プロジェクトチーム発足に伴い新エネルギー対策課も新設され、今後、太陽光や風力など再生可能エネルギーを活用したまちづくりを模索しながら、新たな産業の創設や地域の活性化に取り組んでいきます。



Satsuma sendai topics 12

住宅用火災警報器
設置促進活動で設置率県内トップ

平成23年6月1日からの住宅用火災警報器設置義務化に伴い、消防局では全ての住宅について戸別訪問による設置促進活動を実施しました。活動の成果により、設置義務化時点での市内の住宅用火災警報器設置率は、87.6%となり、県内1位の高い設置率となりました。



Satsuma sendai topics 07

ボンネットバスを活用した
定期観光バス運行

九州新幹線全線開業に合わせ、7月23日からボンネットバスによる市内を周遊する定期観光バス(ゆるっとバス旅)の運行を開始しました。これは、新幹線を利用した本市への観光客や、市民の方々の市内観光地への交通手段の確保と交通利便性の向上を目的に始められたもの。コースは3種類で、それぞれ約3時間かけて市内観光地を巡ります。



Satsuma sendai topics 06

新船観光船「かのこ」運航開始

前観光船の老朽化により、建造中であった観光船「かのこ」が完成し、4月1日から運航を開始しました。全長23m、幅4.8m、最大速度は37ノット(時速68.5km)。中甕漁港を発着港とし、甕島西海岸の雄大な断崖・奇岩を約2時間かけて巡ります。九州新幹線の全線開業も相まって、多くの観光客の利用が期待されています。 ※通常航海は25ノット(時速46km)で運航。



Satsuma sendai topics 15

第22回全国トンボ市民サミット
薩摩川内大会開催

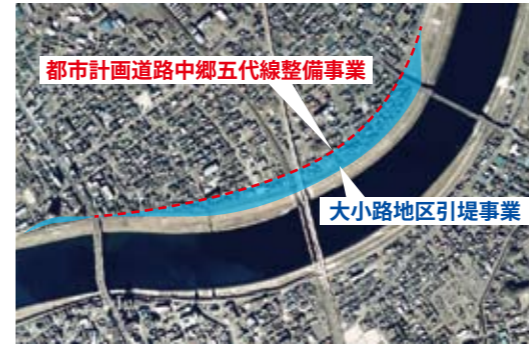
5月14日・15日、蘭牟田池(祁答院町)において、第22回全国トンボ市民サミット薩摩川内大会が開催され、県内外から多数の参加がありました。当日はベッコウトンボの観察会やパネルディスカッションを実施。また、祁答院中学校の生徒が、地元小中学生で取り組んだ蘭牟田池の環境学習の事例発表を行いました。



Satsuma sendai topics 14

産業廃棄物管理型最終処分場
整備工事に着手

県環境整備公社は、平成25年度中の供用開始を目指し、平成23年9月から本格的に産業廃棄物管理型最終処分場の整備工事に着手しました。工事着手に先立ち、同年1月には関係自治会が、4月には市がそれぞれ、県および県公社と環境保全協定を締結しました。同協定は、管理型処分場の建設および処分場閉鎖までの運営における、生活環境の保全と地域住民の安全の確保を目的とするものです。



Satsuma sendai topics 09

都市計画道路
中郷五代線整備事業に着手

10月から、都市計画道路中郷五代線整備事業(天大橋付近から国道3号までの区間:約1.1km)に着手しました。同事業は、国土交通省が実施する市街部大小路地区引堤事業と併せ、一体となって整備を行うもので、周辺市町から本市中心市街地へ流入する交通量の分散化を図ります。



Satsuma sendai topics 08

一般県道手打牟田港線手打バイパス
および蘭牟田瀬戸3号トンネル貫通

3月26日、一般県道手打牟田港線(手打バイパス)が開通しました。これにより手打地区から青瀬地区までの車での移動時間が約10分短縮され、下甕地域の生活利便性が飛躍的に向上しました。また、11月9日には、蘭牟田瀬戸3号トンネル(中甕島)の貫通式がありました。今後2号トンネル(中甕島)の着工、橋梁整備と早期供用開始が期待されています。